



いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第50号
R5.12.14
文責：佐藤

真剣な姿

12月6日（水）、秋田県学力学習状況調査を実施しました。小学校4年生は国語・算数・理科と質問紙、5・6年生は社会を加えた4教科と質問紙です。これは、学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てることをねらいとして、県内全ての小学校4年生から中学校2年生までを対象に行っているものです。

朝8時15分から始まるとどのクラスもシーンと張り詰めた緊張感が漂い、みんな真剣そのものでした。ですから、自分の今もっている力を最大限に発揮することができたと思っています。時間設定が普段と異なるためノーチャイムにしましたが、1～3年生も4年生以上に迷惑をかけないようにと考え生活をしてくれました。

避難訓練（火災） ～いのちを守る岩城小～

感染症拡大のため延期になっていた、火災を想定した避難訓練を、12月12日（火）の長休みに行いました。今回は休み時間だったので、放送を聞いたり近くの先生の指示に従ったりして、それぞれの場所から体育館に避難しました。ふざける様子もなく、口をふさいで素早い行動ができていて、体育館に入ってから集中してお話が聞けて立派だったと思います。

消防署の方の講評でも、「素晴らしい！静かに放送を聞いて、『おはしも』を守って、素早く行動できていました。」と子どもたちを褒めていただきました。後から、高学年の男子が落ち着いて行動していたこと、避難する前に友達に「避難するよ」と声をかけている子どもが見られたことなど、うれしいお話を聞くこともできました。



消防署の方からは、火災を防ぐために3つのお願いがありました。①家にある火災警報器を押して音を確認してほしい（音が鳴らなければ電池や本体の交換が必要）。②掃除をしてほしい（家の中がきれいだと火事が起きにくく燃え広がらない。片付いていないと逃げられない）。③公共の場などでも、緑の「にげろマーク」に向かって逃げてほしい。話題になりましたか？

最後に、5年渡部**さんが「火災警報器を調べて家族の安全を守りたい。」、6年池田**さんが「災害はいつ起きるか分からないので放送をしっかりと聞いて行動したい。」と感想を発表してくれました。



クラブ最終回

12月8日（金）のクラブが、今年度最後のクラブとなりました。どのクラブも思い思いに楽しく活動して、これまでの反省を行いました。



今年度も「ビームライフル」は総合射撃場所長高橋**様、「昔の知恵」は赤平町内会長齋藤**様に外部講師を引き受けていただきました。毎回高橋様には重い用具を運搬し、活動しやすいようにセットして指導していただきました。齋藤様にはその都度子どもたちが興味をもって知恵を働かせることができるよう、内容を工夫していただきました。活動を終わると、「子どもたちと交流することで元気ももらっている」とお話いただき、とても有難いと思いました。この8か月間、本当にありがとうございました。

1月7日（日） 9:00～

家族対抗ビームライフル射撃大会を計画しています。4年生以上であれば2人1組で参加できますので、地域の皆さんにも参加してほしいです。 と話されました。

6年生 租税教室

12月13日（水）5校時、本荘税務署の小松様、高橋様を講師にお迎えし、6年生の「租税教室」を行いました。6年生は社会科で税について一通り学習しているのですが、この時間はDVDを視聴したり詳しい説明を聞いたりすることで、税のしくみや私たちの身の回りで税金がどのように使われているのかを復習することができました。また、6年生は様々な職種の方からお話を聞いているので、質問の中には「税務署の仕事をしているの働きがいは？」というものもありました。きっと自分の将来についてあれこれ考えているのではないのでしょうか。

最後には1億円のレプリカを全員が持ち上げてみてその重さを体感し、大盛り上がりでした。

